

令和4年青森県花き生産状況

農産園芸課

1 概況

令和4年の本県花きの生産状況は、作付面積が79ヘクタール（前年比96%）で、前年に比べ約3ヘクタールの減少、出荷数量が1,288万本・万鉢（同94%）で、前年に比べ約85万本・万鉢の減少、出荷額が12億4700万円（同102%）で、前年に比べ約2,600万円の増加となった。また、栽培農家数は689戸（同108%）と、前年に比べ50戸増加した。^(注1)

要因としては、作付面積や出荷数量の減少については高齢化等による栽培規模の縮小や野菜等への作付転換などが、出荷額の増加については切り花類や鉢物類の販売単価の増加によるものと考えられる。

表1 生産状況

(単位：ha、万本・万鉢、百万円、戸、%)

年次 \ 項目	作付面積	出荷数量	出荷額	栽培戸数
令和4年	79	1,288	1,247	689
令和3年	82	1,373	1,221	639
令和4年/令和3年	96	94	102	108

【農産園芸課調べ】

(注1) 三八地域で調査対象の範囲を広げたため増加となった。

(注2) 表の数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の比と表の値が一致しない場合がある。

2 作付面積

(1) 切り花類

切り花類の作付面積は約55ヘクタール（前年比94%）で、前年より約3ヘクタール減少した。

品目別では、キク類（大中輪ギク、小ギク、スプレーギク等）が約15ヘクタールと最も多く、花き全体の18パーセントを占めた。次いで、トルコギキョウが約8ヘクタール、サクラ（枝物）が約6ヘクタール、ヒマワリが約3ヘクタール、アルストロメリアが約2ヘクタール、カンパニュラ及びアスターが約1ヘクタールの順となった。

カンパニュラ及びアスターは前年より増加し、アルストロメリアは前年並、キク類、トルコギキョウ、サクラ（枝物）、ヒマワリは減少した。

(2) 鉢もの類

鉢もの類の作付面積は約8ヘクタール（前年比114%）で、前年より約1ヘクタール増加した。

品目別では、ポットローズが1.82ヘクタールで最も多く、次いでシクラメンが1.27ヘクタール、サクラソウが0.33ヘクタールとなった。

(3) 苗もの類

苗もの類の作付面積は約4ヘクタール（前年比126%）で、前年より約0.7ヘクタール増加した。

表2 作付面積

(単位：a, %)

区別	年次	令和4年		令和3年		R4/R3
		面積	割合	面積	割合	
切り花類		5,463	69	5,803	71	94
主要品目	キク類	1,457	18	1,559	19	94
	トルコギキョウ	776	10	817	10	95
	サクラ(枝物)	610	8	730	9	84
	ヒマワリ	284	4	316	4	90
	アルストロメリア	192	2	192	2	100
	バラ	84	1	123	2	68
	カンパニュラ	106	1	97	1	109
	カーネーション	85	1	97	1	88
	アスター	92	1	85	1	108
	リンドウ	80	1	85	1	94
	宿根カスミソウ	65	1	84	1	78
	ストック	70	1	65	1	107
	グラジオラス	49	1	57	1	86
	デルフィニウム	41	1	55	1	75
	ユリ類	52	1	52	1	99
	その他	1,421	69	1,389	17	102
鉢ものの類		778	10	683	8	114
主要品目	シクラメン	127	2	134	2	95
	ポットローズ	182	2	130	2	140
	サクラソウ	33	0	28	0	118
苗ものの類		358	5	284	3	126
花木類		138	2	162	2	85
芝類		400	5	400	5	100
球根類		740	9	850	10	87
合計		7,877	100	8,182	100	96

【農産園芸課調べ】

：青森県花き振興方策の重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

3 出荷額

(1) 切り花類

切り花類の出荷額は7億4,400万円(前年比99%)で、前年より約900万円減少した。

品目別では、キク類(大中輪ギク、小ギク、スプレーギク等)が2億4,500万円(同97%)と最も多く、全体の20パーセントを占めた。次いで、トルコギキョウが1億6,700万円(同96%)、アルストロメリアが1億2,400万円(同113%)、バラが4,100万円(85%)、カンパニュラが2,800万円(同125%)、ヒマワリが2,200万円(同90%)の順となった。

(2) 鉢ものの類

鉢ものの類の出荷額は3億1,200万円(前年比101%)で、前年より100万円増加した。

主な品目では、ポットローズが1億3,600万円と最も多く、シクラメンが4,400万円、サクラソウが3,300万円となった。

(3) 苗ものの類

苗ものの類の出荷額は1億2,700万円（前年比134%）で、前年より3,200万円増加した。

表3 出荷額

（単位：百万円，%）

区別	年次		年次		R4/R3	
	令和4年	割合	令和3年	割合		
切り花類	744	60	753	62	99	
主要品目	キク類	245	20	252	21	97
	トルコギキョウ	167	13	174	14	96
	アルストロメリア	124	10	109	9	113
	バラ	41	3	48	4	85
	ヒマワリ	22	2	24	2	90
	カンパニュラ	28	2	22	2	125
	宿根カスミソウ	11	1	22	2	50
	ストック	9	1	9	1	100
	アスター	7	1	6	1	112
	カーネーション	7	1	6	1	116
	サクラ（枝物）	5	0	5	0	112
	リンドウ	4	0	4	0	106
	デルフィニウム	3	0	3	0	97
	ユリ類	2	0	2	0	85
	グラジオラス	1	0	2	0	65
その他	69	6	64	5	108	
鉢ものの類	312	25	311	25	101	
主要品目	ポットローズ	136	11	110	9	124
	シクラメン	44	4	81	7	54
	サクラソウ	33	3	29	2	113
苗ものの類	127	10	95	8	134	
花木類	2	0	1	0	119	
芝類	40	3	37	3	107	
球根類	22	2	25	2	91	
合計	1,247	100	1,221	100	102	

【農産園芸課調べ】

：青森県花き振興方策の重要品目及び地域振興品目

（注）数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

4 地域別の生産状況

(1) 作付面積

地域別では、東青地域及び中南地域が約20ヘクタールでそれぞれ全体の26パーセントを占め、西北地域が約18ヘクタール、三八地域が約15ヘクタール、上北地域が約5ヘクタール、下北地域が約0.4ヘクタールとなった。

(2) 出荷額

地域別では、中南地域が4億1,000万円でもっとも多く、次いで三八地域が3億900万円、西北地域が2億3,800万円、上北地域が2億3,900万円となった。

上北地域では、作付面積は約5ヘクタールと少ないものの、ポットローズ等の鉢ものの生産により単位面積当たりの出荷額は多くなっている。

表4 地域別生産状況

(単位:a、%、百万円)

地域	作付面積					出荷額			主な品目
	令和4年	割合	令和3年	割合	R4/R3	令和4年	令和3年	R4/R3	
東青	2,028	26	2,029	25	100	43	55	78	キク、トルコギキョウ、カーネーション、スターチス、デルフィニウム
中南	2,026	26	2,274	28	89	410	429	96	アルストロメリア、トルコギキョウ、バラ、サクラソウ、キク
三八	1,469	19	1,553	19	95	309	276	112	キク、トルコギキョウ、カンパニュラ、シクラメン、ヒマワリ
西北	1,826	23	1,920	23	95	238	248	96	キク、トルコギキョウ、シクラメン、ユリ(球根)、宿根カスミソウ
上北	486	6	362	4	134	239	211	114	ポットローズ、ポインセチア、カランコエ、観葉植物、バラ
下北	43	0.5	44	0.5	97	2.80	3.07	91	トルコギキョウ、キク、アスター、ベゴニア
合計	7,877	100	8,182	100	96	1,247	1,221	102	

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

5 バケット出荷の状況

切り花の鮮度保持のためのバケット出荷は、JA花き部会を中心に実施されている。

品目別では、トルコギキョウはバケットによる出荷量が61万7千本で約63パーセントで実施されており、キク類は58万6千本で約20パーセント、カンパニュラは36万5千本で100パーセント、ヒマワリは9万1千本で約27パーセント、キンギョソウは2万7千本で約51パーセント、デルフィニウムは9千本で約42パーセントなどとなった。

表5 切花類のバケット出荷状況

(単位:a、千本、%)

品目	施設・露地栽培計			
	作付面積	出荷数量	バケット出荷量	バケット出荷率
トルコギキョウ	776	987	617	62.5
キク類	1,457	3,005	586	19.5
カンパニュラ	106	365	365	100.0
ヒマワリ	284	331	91	27.4
キンギョソウ	20	54	27	50.7
デルフィニウム	41	21	9	42.3
その他	353	1,364	3	0.2
合計	3,037	6,127	1,698	27.7

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

6 JAの花き生産の状況（JA全農あおもり取扱状況）

（1）花き取扱状況

JA全農あおもりの令和4年花き取扱量（県内JAの全取扱数量）は、約577万本（前年比93%）と前年より44.5万本減少した。

また、販売額は5億9,100万円（同105%）と前年より約2,800万円増加した。

（2）販売額割合

県出荷額に対するJA全農あおもりの販売額のシェアは47パーセントと前年より1ポイント増加した。

表6 JA全農あおもりの取扱状況

（単位：千本、百万円、円、%）

項目 年次	農協数	数量	販売額	単価	県出荷額	シェア
令和4年	8	5,767	591	103	1,247	47
令和3年	8	6,212	563	91	1,221	46
R4/R3	100	93	105	113	102	102

【JA全農あおもり調べ】

（注） シェア：（JA全農あおもり販売額÷県出荷額）×100